



2024年度 目標発表 (医療部)



NO	発表部署名	ページ
1	病院長	1
2	呼吸器内科	3
3	消化器内科/消化器内視鏡室	5
4	肝臓内科/肝臓疾患センター	7
5	循環器内科	9
6	脳神経内科/脳卒中センター	11
7	血液内科/血液疾患診療センター	13
8	糖尿病センター	15
9	糖尿病・内分泌内科	17
10	腎臓内科/腎センター	19
11	緩和医療科/緩和ケアセンター	21
12	小児科	23
13	精神科	25
14	外科・消化器外科・血管外科	27
15	呼吸器外科	29
16	乳腺外科	31

NO	発表部署名	ページ
17	整形外科	33
18	形成外科	35
19	脳神経外科	37
20	産婦人科/周産期母子医療センター	39
21	眼科	41
22	耳鼻咽喉科	43
23	泌尿器科	45
24	皮膚科	47
25	放射線診断科/画像診断センター	49
26	放射線治療科/放射線治療センター	51
27	麻酔科/手術センター	53
28	病理診断科/病理診断センター	55
29	リハビリテーション科	57
30	救急科/救命救急センター	59
31	歯科口腔外科	61

2024年度目標

病院長



中期計画等からの重点目標

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	診療報酬改定を踏まえた高齢者救急の体制整備 ・双方協議のうえ、下り搬送受入れ医療機関4つを確保	成果時に評価
2. 生き活きと働ける職場環境	各職員がもつスキルの把握とそれを活用した組織力の向上 ・人材のトータルマネジメントシステムの活用	成果時に評価
3. 地域ニーズへの対応	診療報酬改定で求められる医療と介護の連携強化 ・介護施設に義務化された協力医療機関との連携先として応じる体制を整える ・感染症発生時における介護施設との連携体制を整える	成果時に評価
4. 経営基盤の更なる強化	効率的な集患活動による新規患者、新入院患者の確保 ・ベンチマークの平均を超える入院率を確保	成果時に評価



2024年度 診療数値目標

外来患者数/日(人)

項目	2019年度	2022年度	2023年度	2024年度目標値	達成度
磐田	1,222	1,132	1,121	1,150 (2024.4月:1,062)	成果時に評価

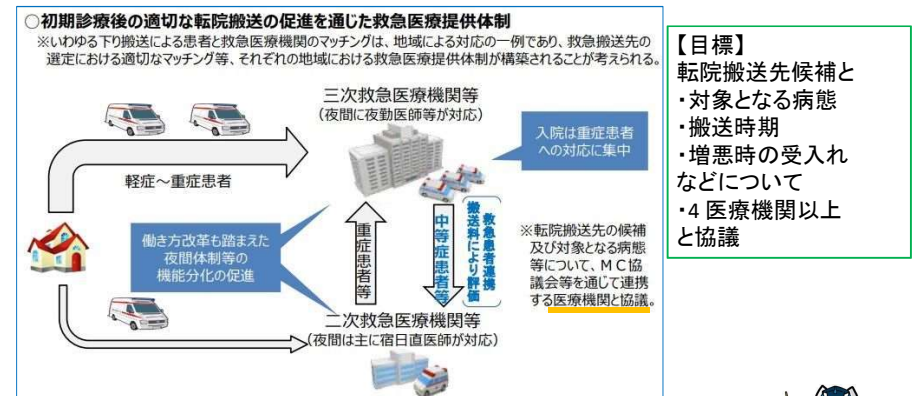
新入院患者数/月(人)

項目	2019年度	2022年度	2023年度	2024年度目標値	達成度
磐田	1,016.5	953.7	1,004.7	1,050 (2024.4月:1,072)	成果時に評価



2024年度の重点目標達成に向けた施策

高齢者救急の体制を整備する



2024年度の重点目標達成に向けた施策

介護施設との連携体制を整備する

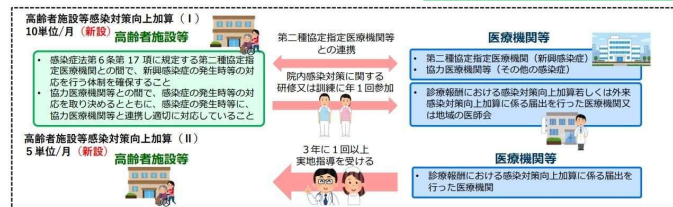
介護保険施設等
【特養・老健・介護医療院】

協力医療機関等との連携の強化

- 診療や入院受入れ等を行う体制を確保した協力医療機関を定めることの義務化
- 以下の要件を満たす協力医療機関を定めることを義務化
 - ① 入所者の病状が急変した場合等に相談対応を行う体制を常時確保
 - ② 診療の求めがあった場合の診療を行う体制を常時確保
 - ③ 入院を要する入所者の入院を原則受け入れる体制の確保
- ※ 協力医療機関との間で1年に1回以上入所者の病状の急変が生じた場合の対応方針について確認

【目標】
介護施設から求められる協力医療機関の責務を果たす
適正な協定を締結する

【目標】
第一種協定指定医療機関、協力医療機関として介護施設等の感染対策に指導的役割を果たす

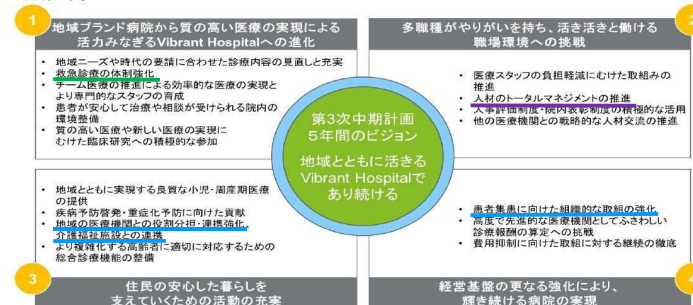


磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

5年ビジョンの実現に向けた4つの重点取組テーマ

ヴァイブラント・ホスピタルを実現していくためには、患者・医療従事者・地域住民等、当院に関わるあらゆる人を惹き付ける魅力を持続しつつ、当院の強みを伸ばし、職員が医療のプロフェッショナルとして生き生きと活躍できる組織を作り上げていくことが大切です。



磐田市立総合病院 第3次中期計画(2021-2025)



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2024年度目標

呼吸器内科



2024年度 診療数値目標

項目	2022年度	2023年度	2024年度 目標値	達成度
月平均新規入院患者数(人) ※簡易ダッシュボードより	85.3	94.0	100	成果時 に評価
DPC期間Ⅱ以内退院率(%) ※簡易ダッシュボードより	52.8	56.1	60.0	成果時 に評価



診療の課題、問題点

・併存症を複数もつ患者さんの増加に伴い、主病名の疾患以外の管理のため、入院期間が延長するケースが増えている。

・地域の中核病院として、診断・治療法の進歩にあわせた診療が求められている。

・働き方改革の推進



中期計画等からの重点目標

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	肺癌の診断におけるクライオ生検の導入	成果時に評価
2. 生き生きと働ける職場環境	スタッフ間の入院患者数を含めた業務の負担均等化をめざした新たな診療体制の導入、運用	成果時に評価
3. 地域ニーズへの対応	呼吸器疾患の診断・治療に関する情報の一般市民への情報発信(呼吸器感染症の予防に関する情報提供等)	成果時に評価
4. 経営基盤の更なる強化	・他の医療機関との連携強化(高齢者入院患者の在院日数の短縮化) ・胸部異常陰影を指摘された患者さんの新たな受け入れシステムの構築	成果時に評価



2024年度の重点目標達成に向けた施策

- ・既にびまん性肺疾患に対して導入しているクライオ生検を、腫瘍性疾患にも導入する準備を進める。

- ・入院担当患者を割り振り制にして、業務負担のかたよりを減らす。



決意表明

- ・地域の医療機関から信頼されるような質の高い呼吸器疾患の診療を目指します。

- ・Life workバランスを考えた働きがいのある職場環境の実現を目指します。



2024年度目標

消化器内科 消化器内視鏡室



中期計画等からの重点目標

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	がん患者に対する高度で低侵襲な治療の提供の維持	成果時に評価
2. 生き活きと働ける職場環境	効率的な処置の施行	成果時に評価
3. 地域ニーズへの対応	紹介患者受入れの維持	成果時に評価



2024年度 診療数値目標

項目	2022年度	2023年度	2024年度目標値	達成度
月平均新規入院患者数(人) ※簡易ダッシュボードより	161.8	169.7	150	成果時に評価
DPC期間Ⅱ以内退院率(%) ※簡易ダッシュボードより	67.1	69.1	68	成果時に評価
下部消化管内視鏡検査	1913	1992	1950	成果時に評価



2024年度の重点目標達成に向けた施策

医師、スタッフともに不足している中で

- ・統括DrとリーダーNsと相談しながら効率的な検査の推進
- ・CE派遣の継続と役割増加
- ・若手の内視鏡手技機会の増加



決意表明

困難な状況の中에서도、消化器診療の維持ができる様、多職種で助け合う環境を作り保つようにしていきます。



 磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2024年度目標

肝臓内科 肝臓疾患センター



2024年度 診療数値目標

項目	2022年度	2023年度	2024年度 目標値	達成度
県認定コーディネーター	15	11	15	成果時に評価
肝疾患治療費助成案内件数	11	29	35	成果時に評価
肝疾患相談件数	35	36	40	成果時に評価



中期計画等からの重点目標

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	院内の肝炎ウイルスマーカー陽性者の拾い上げの徹底	成果時に評価
2. 生き生きと働ける職場環境	それぞれの職種の専門性を発揮出来るように役割分担を明確にする。	成果時に評価
3. 地域ニーズへの対応	肝疾患に対する制度の周知(患者様及び医療スタッフ)	成果時に評価



2024年度の目標

院内の肝炎ウイルスマーカー陽性者の拾い上げの徹底
主治医 HBs抗原、HCV抗体検査オーダー



検査技師 ウイルスマーカー陽性の場合、主治医にメールで連絡



主治医 消化器内科または肝臓内科に紹介



紹介がない場合、肝疾患医療コーディネーターを通じて、主治医に再度連絡



2024年度の目標

肝疾患に対する制度の周知

- ・B型・C型肝炎治療費の助成
- ・定期検査費用の助成
- ・B型肝炎の給付金
- ・薬害肝炎(C型肝炎)の給付金
- ・肝がん・重度肝硬変の方への支援制度



2024年度の目標

患者相談支援活動の促進

肝炎ウイルス検査の「**受検**」、検査陽性者の早期「**受診**」、肝炎患者の継続的な「**受療**」を促進し、「**フォローアップ**」が円滑に行われるようにする。



2024年度の新たなチャレンジ

7月28日は**世界肝炎デー**です。
7月28日を含む1週間は「**肝臓週間**」と定められています。これに合わせて、例年、院内でキャンペーンを行ってきました。
・肝炎関連のポスターなどの掲示、チラシなどの配布
・無料検査の案内など

昨年は、SNSを使って、一般の方への宣伝を行いました。
今年は、無料相談の案内なども盛り込むことを考えています。



決意表明

肝臓病で苦しむ人を一人でも多く救いたい！



2024年度目標

循環器内科



2024年度 診療数値目標

項目	2022年度	2023年度	2024年度 目標値	達成度
月平均新規入院患者数(人) ※簡易ダッシュボードより	81.3	87.3	90.0	成果時に評価
DPC期間Ⅱ以内退院率(%) ※簡易ダッシュボードより	73.6	74.3	75.0	成果時に評価
ロータブレードPCI件数	0	3	6	成果時に評価
アブレーション	68	74	80	成果時に評価



中期計画等からの重点目標

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	・カテーテル治療における質の向上(ロータブレードPCI、アブレーション等の件数増加) ・CPX(呼気ガス心肺運動負荷試験)を用いた心臓リハビリ強化 ・医大等と連携した高度医療提供の環境の維持	成果時に評価
2. 生き活きと働ける職場環境	緊急対応の質を維持しつつ、ライフワークバランスを保てる職場作り	成果時に評価
3. 地域ニーズへの対応	高齢化の進行に伴い増加する心不全患者への診療の充実 病診連携診療の強化(心不全地域連携連絡会の継続)	成果時に評価
4. 経営基盤の更なる強化	カテーテルインターベンション(特にロータブレード)やアブレーションなどの件数維持・増加	成果時に評価



2024年度の重点目標達成に向けた施策

・医療の維持・向上

- ・ロータブレードPCIやカテーテルアブレーション治療の件数増加
- ・呼気ガス心肺運動負荷試験の運用安定化
- ・浜松医大循環器内科・心臓血管外科との合同カンファレンス定期開催の継続

・心不全診療に重点を置いた地域医療

- ・心不全地域連携連絡会を院内多職種連携を院外職種や地域クリニックも含めて拡充させる(定期連絡会や勉強会)



2024年度の重点目標達成に向けた施策

・働き方改革

- ・過重労働の回避やライフワークバランスの充実への配慮
 - ・緊急疾患への対応(緊急カテーテル、心不全等)の質を維持
- 上記の両立を図れるような診療体制の模索(当番体制の工夫など)



決意表明

地域中核病院としての医療を提供しつつ、
更なる質の向上を目指します。

医師、看護師、コメディカルスタッフで協
力して心不全パンデミックに挑みます。



2024年度目標

脳神経内科 脳卒中センター



中期計画等からの重点目標

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	正確な診断に基づいた治療	成果時に評価
2. 生き活きと働ける職場環境	業務の簡素化	成果時に評価
3. 地域ニーズへの対応	柔軟に紹介受診に対応	成果時に評価
4. 経営基盤の更なる強化	投薬、検査は必要最小限とする	成果時に評価



2024年度 診療数値目標

項目	2022年度	2023年度	2024年度目標値	達成度
入院患者数	334	290人	300人	成果時に評価



2024年度の重点目標達成に向けた施策

患者さんを中心とした診療を心がけます



決意表明

持続可能な診療を行ないます



 磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2024年度目標

血液内科 血液疾患診療センター



中期計画等からの重点目標

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	自家末梢血幹細胞移植を引き続き積極的におこない、年間5件以上を維持する。	成果時に評価
2. 生き活きと働ける職場環境	血液疾患診療センターによる多職種連携して、タスクシェアメントをすすめる。チーム血液内科で診療にあたり業務を分担し休暇を取りやすい環境を目指す。	成果時に評価
3. 地域ニーズへの対応	血液疾患やAYA世代のがんについて、市民や学生に教育や公開講座をおこなえる機会を作る。	成果時に評価
4. 経営基盤の更なる強化	入院化学療法において、DPCを意識したクリニカルパスをさらに推進する。	成果時に評価



2024年度 診療数値目標

項目	2022年度	2023年度	2024年度目標値	達成度
年間入院患者数 (実人数/延べ人数)	242/603	265/708	200/500	成果時に評価
自家末梢血幹細胞移植件数	12	10	5	成果時に評価



2024年度の重点目標達成に向けた施策

- ・血液疾患診療センターの取り組みを発信する。
- ・AYA外来をスタートさせる。
- ・血液疾患における多職種連携や病病連携、病診連携をすすめ、全国的にも発信していく。



決意表明

中東遠地域唯一の血液内科を標榜している日本血液学会認定の血液専門研修施設として、当地域の中心的役割を担います。

当院血液内科の試みを発信していきます。



2024年度目標

糖尿病センター



中期計画等からの重点目標

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	腎症重症化予防外来の拡充 初年度（R5年）の問題点の洗い出しと改善	成果時に評価
2. 生き活きと働ける職場環境	●糖尿病教育入院時の 外来スタッフ⇔入院スタッフの情報連携のみなおしによる スタッフの時間・労力の削減 ●院内スタッフむけ糖尿病ミニレクチャーの開催	成果時に評価
3. 地域ニーズへの対応	DiaMAT (災害時糖尿病医療支援チーム) への参加	成果時に評価
4. 経営基盤の更なる強化	●外来患者を対象にした慢性腎臓病透析予防指導管理料（2024年新療報酬改定）腎臓内科さんと協力して院内算定体制の準備する	成果時に評価



2024年度 診療数値目標

項目	2022年度	2023年度	2024年度目標値	達成度
腎症重症化予防外来	—	4	20	成果時に評価
DiaMAT(災害時糖尿病医療支援チームへのスタッフ登録)療養指導士の増員	—	—	10 (うち療養指導士5)	成果時に評価
フットケア外来患者数	7	81	100	成果時に評価



糖尿病センター2024年度の重点目標達成にむけた施策 1

腎症重症化予防外来の拡充
初年度（R5年）の問題点の洗い出しと改善

54歳未満 磐田市在住 予測糖尿病通院患者600名 当院 n=294 市内クリニック n=310	尿蛋白 (n=294 当院)		尿中微量アルブミン (n=59 当院)	
	未検査	陰性	陽性	陽性
磐田市立総合病院	11	154	129	19
市内クリニック(30施設)			12	67

専門外来
保健指導



2024年診療報酬改定で新設

外来患者を対象にした慢性腎臓病透析予防指導管理料
腎臓内科さんと協力して院内算定体制の準備する

(対象：糖尿病患者と現在透析治療中患者を除く！)

協力ポイント

●腎臓病教室の開催 一教室に腎臓病講義を新規設定一

算定の基準として定期的に教室を実施して、腎臓病について患者や家族
に対して説明が行われていること、が条件
当該教室は糖尿病透析予防指導管理料に規定する糖尿病教室の実施によ
り代えることとしても差支えない。

●透析予防指導スタッフの育成 1人(2024年4月)→2人



決意表明

スタッフ一人ひとりのスキルアップ
進歩する糖尿病医療に柔軟に対応



2024年度目標

糖尿病・内分泌内科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

中期計画等からの重点目標

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	複数科多職種による混合チームである糖尿病センターの主軸となる科として、腎症重症化予防、フットケア外来、患者指導をはじめとした院内の糖尿病事業を展開	成果時に評価
2. 生き活きと働ける職場環境	当該分野での積極的な学会論文発表 糖尿病・内分泌代謝科専門医の育成	成果時に評価
3. 地域ニーズへの対応	地域で唯一の内分泌専門医療機関・糖尿病教育入院稼働医療機関となっており、地域のクリニック、患者さんのニーズに応える 専門的な診療	成果時に評価
4. 経営基盤の更なる強化	<ul style="list-style-type: none"> 健診からの未介入当科関連慢性疾患患者のひろいあげと指導開始、治療継続（病診連携）までのシステムの構築 新規薬剤、新規血糖管理ツールの評価と導入（薬剤科 検査科との協力による） 	成果時に評価



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2024年度 診療数値目標

項目	2022年度	2023年度	2024年度目標値	達成度
月平均新規入院患者数(人) ※簡易ダッシュボードより	13.8	12.2	15.0	成果時に評価
DPC期間Ⅱ以内退院率(%) ※簡易ダッシュボードより	79.1	73.7	80.0	成果時に評価

糖尿病センターとして

透析予防外来患者数	-	4	20	成果時に評価
フットケア外来患者数	7	81	100	成果時に評価



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

糖尿病・内分泌内科 2024年度の重点目標達成にむけた施策 1

健診からの未介入当科関連慢性疾患患者のひろいあげと指導開始、治療継続（病診連携）までのシステムの構築

毎日08:30に院内健診からの予約可能枠を4年以上前からオープン。
【どのような患者さんを対象とするか】を明確にし、広く受診ができる体制を整える。
午後の診療希望の方にむけ週2枠 健診からの受け入れ枠増枠を検討中。

受け入れ対象検討例

- ①何も合併症がなくてもBMI35以上の高度肥満の方
- ②肥満の有無に関わらず、耐糖能異常の要精査以上の方。
(近医に案内されていた方で当院御希望であれば受診していただく)
- ③BMI25-35未満でもメタボリックシンドロームの診断基準満たす方

追加の指導 追加の検査

栄養指導 生活指導 透析予防指導 75gOGTT 腹部エコー NAFLDの診断
かかりつけ医クリニックへの紹介
紹介状フォーマットの作成



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2024年度の重点目標達成にむけた施策 2

新規薬剤 稀少ホルモン疾患を対象とした薬剤の採用検討、
新規血糖管理ツールの評価と導入

薬剤科 検査科 SPD 等関係各所との情報交換と協力

具体的には

- ①新しい糖尿病内服薬 注射製剤
ホルモン補充、過剰分泌抑制に用いる専門性の高い薬剤
- ②どんどん進歩する血糖測定管理ツールに対応
- ③インスリン注射針や血糖測定針 アルコール綿などの糖尿病関連消耗品

コンセプトは！

最も新しく、最も有効な情報を患者さんに提供する
患者さんの安全だけでなく、医療スタッフの安全性を考える
コストパフォーマンスを考える



決意表明



稀少なホルモン疾患から
糖尿病や高血圧などの身近な疾患まで

スペシャリストが提供する
患者さん一人ひとりのための医療



2024年度目標

腎臓内科 腎センター



自部署の課題

- 当院へ通院している血液透析患者さんの高齢化・合併症悪化による患者数減少
- 夜間透析を行っているため、時差勤務等の効率的な勤務体制の検討が必要
- 腎代替療法における社会のニーズに対して十分に適応できていない可能性



2024年度 診療数値目標

項目	2022年度	2023年度	2024年度 目標値	達成度
維持透析患者数 [110名]	104	102	106	成果時に評価
透析導入患者数	64	53	58	成果時に評価



中期計画等からの重点目標

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	・ 血液透析、腹膜透析、腎移植を3本柱としたバランスの良い腎代替療法の提供 ・ オンラインHDFなどの新たな治療方法の開始	成果時に評価
2. 生き活きと働ける職場環境	・ 医師の働き方改革の推進 ・ 家庭環境を考慮したワークライフバランス実践	成果時に評価
3. 地域ニーズへの対応	・ 夜間透析を含む透析医療体制の維持 ・ 腹膜透析治療の再開 ・ 災害時における透析医療提供体制の確立	成果時に評価
4. 経営基盤の更なる強化	・ 維持透析患者数の維持～増加 ・ 令和6年度診療報酬改定に対する対応	成果時に評価



2024年度の重点目標達成に向けた施策 (チャレンジ)

令和6年度診療報酬改定
(新) 慢性腎臓病透析予防管理料 300点

上記予防管理料の取得に向けた準備



2024年度の重点目標達成に向けた施策

- 医師の働き方改革の推進
5日以上の年休取得率を60%から100%へ
- 腹膜透析治療の再開
人工腎臓導入期加算2の取得に向けての準備



決意表明

より質の高い透析医療を追求し
周囲から目標とされる施設となる

腎不全患者さんを減らしたい



2024年度目標

緩和医療科 緩和ケアセンター



2024年度 診療数値目標

項目	2023年度	2024年度 目標値	達成度
緩和医療科 新規入院患者数	32人/年	30以上	成果時 に評価
緩和ケアチーム介入患者 死亡退院割合	18.8%	16%以下	成果時 に評価
緩和医療科転帰のうち 在宅ケア導入件数	10.1%	15%以上	成果時 に評価

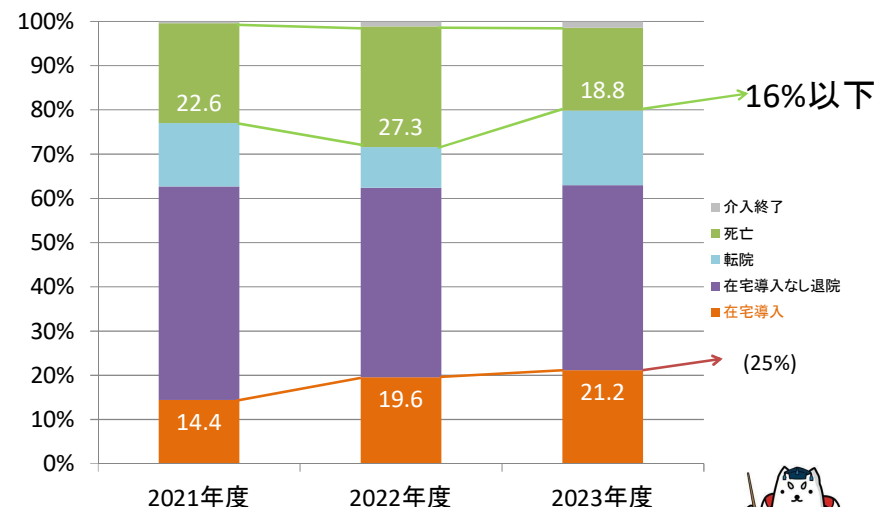


中期計画等からの重点目標

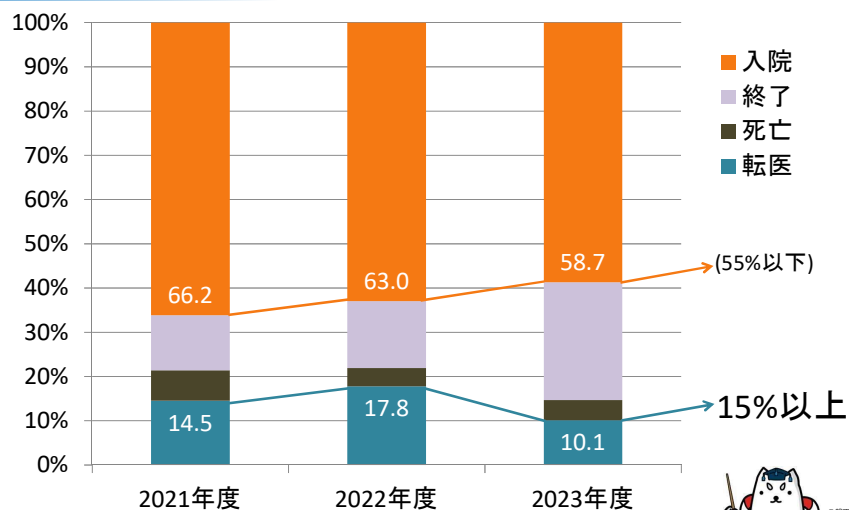
項目	目標
1. 質の高い医療の実現	痛み日記、オピオイド回診の継続でオピオイドの適正な使用を促す(がんばかりでなく非がんも)
2. 今後の医療を支える環境作り	緩和ケア関連研修会, がん教育の継続・推進
3. 地域連携の更なる推進	中東遠連携カンファレンス, 在支診・在支病連携カンファレンス, 県西部緩和ケアチーム合同カンファの主催・参加
4. 意思決定支援	院内ガイドライン・マニュアルの作成・改訂, 普及のための研修会
5. 臨床倫理問題への対応	臨床倫理コンサルテーションでの対応



関わった患者の転帰(入院)



関わった患者の転帰(外来)



2024年度の重点目標達成に向けた施策

早めの症状緩和

緩和ケアチームだけでなく主治医チームも
全医療者への研修、支援

早めの意思決定支援

外来から、積極治療から将来を見越して
家族ケア
意思決定で重要な役割あり



決意表明

目標: 緩和ケアチームが必要なくなる

- 医療・ケアの隙間を埋め、がん難民をなくす
- 数字に囚われない医療, 質を重視するケア
- 過ごしたい処で過ごせるように支援に徹する



2024年度目標

小児科



2024年度 診療数値目標

項目	2022年度	2023年度	2024年度 目標値	達成度
月平均新規入院患者数(人) ※簡易ダッシュボードより	44.0	65.3	70	成果時に評価
DPC期間Ⅱ以内退院率(%) ※簡易ダッシュボードより	81.5	81.0	80以上	成果時に評価
月平均紹介件数(人) ※簡易ダッシュボードより	46.0	53.4	60	成果時に評価



中期計画等からの重点目標

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	救急外来コンサルト症例・救急搬送症例への24時間対応 入院が必要な症例の24時間対応	成果時に評価
2. 生き活きと働ける職場環境	働き方改革への対応、必要な代償休息時間の確保、宿直明け業務の調整、産休や育児への対応	成果時に評価
3. 地域ニーズへの対応	周産期医療を含めた地域中核病院としての小児医療提供体制の維持、公募による新生児蘇生コース開催	成果時に評価
4. 経営基盤の更なる強化	外来・入院数の維持	成果時に評価



2024年度の重点目標達成に向けた施策

- ・救急外来からのコンサルトへの対応
- ・新生児対応を含めた入院が必要な症例への24時間体制での対応を維持
- ・上記を無理なく継続していくために産休育休への対応、育児を行いながらの業務働き方改革を念頭に置いた宿直医師の負担軽減



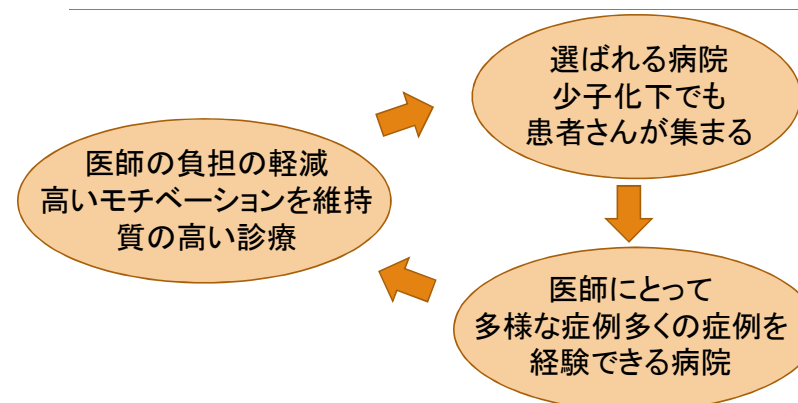
2024年度の重点目標達成に向けた施策

- ・宿日直回数が多いが
休息や休暇の取得ができる体制を整える
- ・小児科スタッフ全員が常に高い
モチベーションを保つ
- ・信頼できる医療を提供することにより
周辺地域の方々から選ばれる診療科を目指す



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明



このサイクルを目指したいです



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2024年度目標

精神科



中期計画等からの重点目標

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	質の高い精神療法の提供	成果時に評価
2. 生き活きと働ける職場環境	精神科医として当院職員の負担を調整し、就労環境の負担軽減に努める	成果時に評価
3. 地域ニーズへの対応	可能な限り地域からの受診依頼を受ける	成果時に評価
4. 経営基盤の更なる強化	年間3000人前後の外来患者数を維持する	成果時に評価



2024年度 診療数値目標

項目	2022年度	2023年度	2024年度目標値	達成度
月平均外来患者数(人) ※簡易ダッシュボードより	252.3	250.9	250	成果時に評価



2024年度の重点目標達成に向けた施策

- ・学会や症例検討、文献等から情報を得て、研鑽を積む。
- ・外来診療が円滑に進む様に、予約人数を調整する。
- ・予約枠有効に活用し、内外からの診察依頼に対応する。



決意表明

- ・精神科医1名のみの診療体制で、出来る事に取り組んで行く。
- ・当院職員の業務負担が過大にならないよう、必要に応じて各部署や当院上層部に精神科医として助言する。



2024年度目標

外科・消化器外科 血管外科



2024年度 診療数値目標 外科消化器外科

項目	2022年度	2023年度	2024年度 目標値	達成度
月平均新規入院患者数(人)	71.0	73.9	74.0	成果時に評価
DPC期間Ⅱ以内退院率(%)	78.1	74.1	75.0	成果時に評価
ロボット支援胃切除手術件数	0	0	5	成果時に評価



2024年度 診療数値目標 血管外科

項目	2022年度	2023年度	2024年度 目標値	達成度
月平均新規入院患者数(人)	4.4	3.3	4.5	成果時に評価
DPC期間Ⅱ以内退院率(%)	76.7	69.7	72.0	成果時に評価
手術件数	135	116	140	成果時に評価



中期計画等からの重点目標

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	がん患者に対する高度で低侵襲な治療の提供 ロボット支援胃切除術の安全な導入、実施	成果時に評価
2. 生き活きと働ける職場環境	年休の取りやすい職場環境(趣味、家族のイベントなど) 夜間就労時、翌日休養できる環境づくり	成果時に評価
3. 地域ニーズへの対応	地域の高度急性期医療を担う 適切な癌診療の提供	成果時に評価
4. 経営基盤の更なる強化	急性期充実体制加算の要件(全身麻酔手術2000件+緊急全身麻酔手術350件)の維持	成果時に評価



2024年度の重点目標達成に向けた施策

- ・ロボット支援胃切除の浜松医大への見学、準備、
プロクター招聘依頼済み→ロボット支援胃切除導入
 - ・ロボット支援大腸切除、肝切除、膵切除の維持
→高度で低侵襲な治療の提供
 - ・外科医の年休取得推奨(家族、趣味のため)
→生き生きと働くため
 - ・遺伝子パネル検査を積極的活用→適切ながん治療
 - ・麻酔科との連携による迅速な全麻セットアップによる
緊急手術対応の維持
- 急性期充実体制加算維持



決意表明

- ・ロボット支援胃切除の安全な導入
- ・外科医のQOL向上を目指す



2024年度目標

呼吸器外科



2024年度 診療数値目標

項目	2022年度	2023年度	2024年度 目標値	達成度
入院診療単価(円) ※簡易ダッシュボードより	151,229	141,120	152,000	成果時に評価
DPC期間Ⅱ以内退院率(%) ※簡易ダッシュボードより	80.0	80.0	81.0	成果時に評価
手術件数	113	116	120	成果時に評価
ロボット支援下手術件数	12	15	20	成果時に評価



中期計画等からの重点目標

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	高度で低侵襲な胸部外科手術の提供 胸部外傷患者に対する適切な治療の提供	成果時に評価
2. 生き生きと働ける職場環境	チーム医療の充実による負担分配	成果時に評価
3. 地域ニーズへの対応	中東遠圏域の胸部疾患治療、胸部外傷診療への貢献	成果時に評価
4. 経営基盤の更なる強化	近隣病院との診療連携の拡充	成果時に評価



2024年度の重点目標達成に向けた施策

- ロボット支援下手術の安全な適用拡大
- 中東遠圏域4病院をはじめとした近隣医療施設との連携強化
 - 特に胸部外傷患者の後方連携の確保
- 積極的な休暇の取得促進



決意表明

スタッフの得意分野を最大限に
活かしながら、
時代の潮流と周囲の状況に即して
変化を続けていきます



2024年度目標

乳腺外科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

中期計画等からの重点目標

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	質の高い手術の提供・ガイドラインに沿った薬物治療の提供	成果時に評価
2. 生き活きと働ける職場環境	webなどで乳癌治療に関わる他職種スタッフと定期的カンファレンスを開催して情報共有	成果時に評価
3. 地域ニーズへの対応	待ち時間の短縮のための開業医との連携・市民への情報提供	成果時に評価
4. 経営基盤の更なる強化	形成外科と連携して早期から乳房再建の希望を確認して実施するシステムの構築	成果時に評価



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2024年度 診療数値目標

項目	2023年度	2024年度目標値	達成度
乳腺悪性腫瘍に対する根治術数	104	110	成果時に評価
(上記の内乳房再建に関する手術数)	(18)	(20)	成果時に評価
そのほかの手術	30	35	成果時に評価
手術の総計	134	145	成果時に評価
超音波及びステレオガイド下マンモトーム(吸引式組織生検)	25	30	成果時に評価
延入院患者数	1242	1300	成果時に評価
延外来患者数	8442	8500	成果時に評価



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2024年度の重点目標達成に向けた施策

1. 動画を用いた病状説明やデジタル技術を利用した診療の効率化
→ 外来待ち時間短縮 (告知時の病状説明の動画作成など)
2. 乳腺診療に関わるスタッフとのSNSを利用した情報共有と教育
乳癌学会・カンファレンスの連絡、講演会情報などの共有
3. 乳腺専門医育成プログラムに基づく若手医師教育と情報共有
目標: 学会発表 3演題
4. 術後地域連携パス・骨転移地域連携パスを利用した地域連携推進
5. 組織吸引式針生検による診断精度の向上
6. 腫大リンパ節にマーカー留置後、術前薬物治療を行い、手術時正確なセンチネルリンパ節生検を行い腋窩郭清省略
7. MRIと超音波融合画像ガイド下生検による正確な診断



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

地域格差の解消

重篤な薬害防止

経験と知識の次世代への伝承



2024年度目標

整形外科



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

中期計画等からの重点目標

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	低侵襲で専門性の高い治療の実施体制の維持に向けた体制設備	成果時に評価
2. 経営基盤の更なる強化	DPC期間を意識した入院管理や新入院患者の獲得 外保連指数や手術点数を意識した手術への取り組み	成果時に評価
3. 活き活きと働ける職場環境	医師の働き方改革への取り組みとして時間外勤務の削減 や適切な休息取得に向けた診療体制の構築	成果時に評価



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2024年度 診療数値目標

項目	2022年度	2023年度	2024年度 目標値	達成度
月平均新規入院患者数(人) ※簡易ダッシュボードより	95.8	92.8	100	成果時に評価
DPC期間Ⅱ以内退院率(%) ※簡易ダッシュボードより	68.1	69.3	73.0	成果時に評価
外保連指数の高い手術(脊椎・人工関節・関節鏡)件数	231	262	280	成果時に評価
年休取得日数	-	8.75	10.0	成果時に評価



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2024年度の重点目標達成に向けた施策

外保連指数や手術点数を意識した手術への取り組み

(整形外科 12.09, 呼吸器外科22.07, 消化器外科 21.07)

- ・脊椎関連手術、人工関節置換術、関節鏡下手術実施数、新規入院患者数の増加
→近隣医療機関・住民へのアピール
- ・手術室の効率的な運用への協力
→複数医師が上記手術を実施可能に

低侵襲・専門性の高い治療の実施への取り組み

- ・脊椎関連→**脊椎内視鏡手術**の導入準備、コンドリアーゼ椎間板注入
- ・**コンピュータ支援手術**の導入準備(人工関節ナビ・ロボット)

医師の働き方改革への取り組み

- ・**複数主治医制**の導入、実施により休暇を取得しやすく
- ・**勤務時間内**のカンファレンスや勉強会の実施



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

診療レベルを上げて開業医・地域住民に選ばれる
整形外科を目指すのみならず、病院経営や診療ス
タッフの健康やモチベーションにも配慮した取組み
を目指します。



 磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2024年度目標

形成外科



中期計画等からの重点目標

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	診療のレベルアップ 若手医師の育成	成果時に評価



2024年度 診療数値目標

項目	2022年度	2023年度	2024年度 目標値	達成度
月平均新規入院患者数(人) ※簡易ダッシュボードより	16.8	15.2	17.0	成果時に評価
DPC期間Ⅱ以内退院率(%) ※簡易ダッシュボードより	76.4	70.6	75.0	成果時に評価
手術件数(1-12月)	1238	1623	1623	成果時に評価
全身麻酔件数(1-12月)	157	190	190	成果時に評価



2024年度の重点目標達成に向けた施策

病院収益への貢献

①月平均新規入院患者数の増加

2023年度 15.2人 → 17人

今年度も医師4人体制は同じですが、専門医3→1人に減ったため、若手医師を育成し出来る手術の幅を広げることで手術件数を増やします



2024年度の重点目標達成に向けた施策

②DPCⅡ以内退院率の向上

2023年度 70.6% → 2024年度 75%

下肢切断術後や褥瘡感染軽快後に転院待ちで日数が伸びることが多いため、入院当日に退院後の行き先希望を確認、PFMの面談を組めます



決意表明

若手医師の育成を行い、手術件数の増加と診療レベルアップを目指します



2024年度目標

脳神経外科



2024年度 診療数値目標

項目	2022年度	2023年度	2024年度 目標値	達成度
月平均新規入院患者数(人)	22.2	25.3	25	成果時に評価
DPC期間Ⅱ以内退院率(%)	61.4	73.6	70	成果時に評価
手術件数	145	190	200	成果時に評価



中期計画等からの重点目標

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	質の高い手術の提供 質の高い診療の提供	成果時に評価
2. 地域ニーズへの対応	近隣医療機関や施設との連携強化	成果時に評価
3. 職場環境待遇の改善	風通しの良い職場環境 コメディカルとの連携 就労環境・条件の改善	成果時に評価



2024年度の重点目標達成に向けた施策

緊急患者の受け入れ

専門的知識・技術を活かした症例集積

地域のニーズに合わせた受け入れ
(緊急症例対応、頭痛、認知症等)



決意表明

緊急患者の受け入れ

専門的・最新の医療対応

研鑽環境、就労環境の改善



 磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2024年度目標

産婦人科 周産期母子医療センター



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

中期計画等からの重点目標

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	質の高い手術の提供	成果時に評価
2. 生き活きと働ける職場環境	スタッフ数の確保、有給休暇消化率の増加	成果時に評価
3. 地域ニーズへの対応	周産期医療提供体制の維持	成果時に評価
4. 経営基盤の更なる強化	分娩数の維持	成果時に評価



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2024年度 診療数値目標

項目	2022年度	2023年度	2024年度目標値	達成度
月平均新規入院患者数(人) ※簡易ダッシュボードより	71.0	79.7	80.0	成果時に評価
DPC期間Ⅱ以内退院率(%) ※簡易ダッシュボードより	83.8	83.1	84.0	成果時に評価
分娩件数	447	406	400	成果時に評価
ハイリスク分娩管理加算数 (のべ)	496	424	430	成果時に評価
鏡視下手術件数	102	159	167	成果時に評価



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2024年度の重点目標達成に向けた施策

- 質の高い手術の提供
 - 鏡視下手術・ロボット支援下手術の増加
 - 安全を確保した上での手術時間の短縮
 - ロボット支援下仙骨腔固定術の施行(高難度新規医療技術等の提供)
 - vNOTES:経腔的内視鏡手術の施行
- スタッフ数の確保
 - 大学非常勤医師の確保
 - 有給休暇消化率の増加



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2024年度の重点目標達成に向けた施策

3. 周産期医療提供体制の維持

- 中東遠地域周産期医療機能の内容決定および実施
- ハイリスク妊娠・ハイリスク分娩・新生児等の受け入れ維持

4. 分娩数の維持

- 分娩費算出法の見直し(経膈分娩と帝王切開とのアンバランス是正)
- 付加価値のある分娩の増加
 - 無痛分娩の増加
 - 非侵襲性出生前遺伝学検査(NIPT)の施行
- 産後食の改善
- 入院中の患者コミュニケーションの促進
- 産科外来の超音波画像の提供



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

決意表明

中東遠地域の中核病院として地域のニーズに応える手術を施行します。

中東遠地域唯一の地域周産期母子医療センターとして、ハイリスク妊娠・ハイリスク分娩・新生児の受入を維持していきます。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2024年度目標

眼科



中期計画等からの重点目標

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	質の高い眼科診療の提供する	成果時に評価
2. 生き活きと働ける職場環境	医師の働き方改革に則った就労環境の促進 (タスクシフトシェア、有給消費など)	成果時に評価
3. 地域ニーズへの対応	開業医様の積極的な受け入れおよび、眼症状が落ち着いたら速やかに紹介元へ送る	成果時に評価



2024年度 診療数値目標

項目	2022年度	2023年度	2024年度目標値	達成度
月平均新規入院患者数(人) ※簡易ダッシュボードより	20.3	11.2	10.0	成果時に評価
DPC期間Ⅱ以内退院率(%) ※簡易ダッシュボードより	99.6	100	100	成果時に評価
眼科手術件数	559	581	581	成果時に評価



2024年度の重点目標達成に向けた施策

- ・積極的な学会参加で研鑽を積む。
- ・外来待ち時間をできるだけ短くするため、落ち着いている患者は優先的に近医開業医へ紹介する。
- ・必要な検査のみ行い、患者の負担をできるだけ少なくする。
- ・できるだけ日帰り手術を行い、緊急または各科の重症患者が入院しやすい環境を作り出す。



決意表明

・眼科医常勤医1名かつ365日24時間オンコール体制のため、業務量が適正となるようにする。

・科内スタッフが有給を取得しやすい職場環境となるよう心掛ける。



2024年度目標

耳鼻咽喉科



中期計画等からの重点目標

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	業務効率化・省力化で生じた余剰時間で研鑽を行なう	成果時に評価
2. 生き活きと働ける職場環境	業務効率化・省力化で生じた余剰時間で休憩時間・インターバルを確保する	成果時に評価
3. 地域ニーズへの対応	病診連携の強化	成果時に評価
4. 経営基盤の更なる強化	外保連指数を意識した手術検討	成果時に評価



2024年度 診療数値目標

項目	2022年度	2023年度	2024年度目標値	達成度
月平均新規入院患者数(人) ※簡易ダッシュボードより	18.6	26.8	28.0	成果時に評価
DPC期間Ⅱ以内退院率(%) ※簡易ダッシュボードより	83.3	84.2	85.0	成果時に評価
手術実績件数	245	377	420	成果時に評価



2024年度の重点目標達成に向けた施策

- Excelやオンラインカレンダー、PowerPointを活用した症例管理・予定管理、患者説明の効率や質の向上、省力化
- AIを活用した情報収集・研鑽
- 鼓室形成術や汎副鼻腔内視鏡手術などを積極的に行なう



決意表明

安全で丁寧な診療を提供していきます

業務の効率化・省力化を検討します

クリニックで対処困難な症例の受け入れ
およびクリニックで対処可能になった症例
の逆紹介など病診連携を進めていきます



 磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2024年度目標

泌尿器科



中期計画等からの重点目標

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	質の高い医療の提供	成果時に評価
2. 生き活きと働ける職場環境	「働き方改革」の実践、年休消化率の上昇	成果時に評価
3. 地域ニーズへの対応	周辺医療機関との連携、コミュニケーション強化	成果時に評価
4. 経営基盤の更なる強化	日本全体、当院診療域いずれも人口減少傾向が続く →診療単価増加(診療報酬算定、外保連指数など)を目指す	成果時に評価



2024年度 診療数値目標

項目	2022年度	2023年度	2024年度目標値	達成度
月平均新規入院患者数(人) ※簡易ダッシュボードより	47.8	49.5	49	成果時に評価
DPC期間Ⅱ以内退院率(%) ※簡易ダッシュボードより	57.3	66.6	65	成果時に評価
手術件数	395	386	390	成果時に評価



2024年度の重点目標達成に向けた施策

診療単価増加が見込まれる診療機器購入が可能であれば

①MRI/エコー癒合画像ガイド前立腺生検システム 8889点→15259点、年約150件

②光線力学診断(アラグリオ)使用TUR-Bt

26838点→27777点、年約90件



決意表明

- ・従前の医療提供体制と内容は変わらず
- ・ロボット前立腺癌手術の診療報酬算定維持
(1年間で20件以上)。
- ・診療報酬増加の見込まれる
医療機器導入を目指す。(予算要求)



2024年度目標

皮膚科



中期計画等からの重点目標

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	がん診療拠点を満足に支持しうる「薬疹対応」「スキンケア指導」「リンパ浮腫管理」の実施	成果時に評価
2. 生き活きと働ける職場環境	スタッフ間の良好な人間関係の醸成	成果時に評価
3. 地域ニーズへの対応	難治症例の積極的な受け入れおよび、新規の薬剤・治療法の導入と実践	成果時に評価



2024年度 診療数値目標

項目	2022年度	2023年度	2024年度目標値	達成度
月平均新規入院患者数(人) ※簡易ダッシュボードより	10.2	12.1	12.5	成果時に評価
月平均外来患者数(人) ※簡易ダッシュボードより	954.1	1086.0	1100.0	成果時に評価
紹介件数	32.8	38.3	40.0	成果時に評価



2024年度の重点目標達成に向けた施策

○新規導入機材・薬剤による治療の推進

・昨年導入したエキシマライトによる円形脱毛症、尋常性白斑等の治療を積極的に実施

・必要な患者への生物学的製剤の適正かつ速やかな導入

○重症薬疹診療拠点病院としての薬疹研究、治療の継続

○リンパ浮腫外来認知度の向上



決意表明

・診療の質・量ともに更なる診療内容拡充を図り、実質的人員減をカバーしていきます。



 磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2024年度目標

放射線診断科 画像診断センター



中期計画等からの重点目標

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	安全、迅速な画像検査、読影、血管造影検査治療の実施	成果時に評価
2. 生き活きと働ける職場環境	常勤医、非常勤医の確保	成果時に評価
3. 地域ニーズへの対応	診療所依頼の画像検査読影の維持	成果時に評価
4. 経営基盤の更なる強化	(新)画像診断管理加算3の取得	成果時に評価



2024年度 診療数値目標

項目	2022年度	2023年度	2024年度目標値	達成度
読影率	88.4%	87.4%	8割以上	成果時に評価
読影件数	32,773	33,255	33,000以上	成果時に評価



2024年度の重点目標達成に向けた施策

(新)画像診断管理加算3の取得をする

- ・画像診断専門医常勤医3名以上 ○
- ・翌診療日まで8割以上の読影 ○
- ・救急救命センターを有する ○
- ・夜間休日の読影体制の整備 ○
- ・人工知能活用の画像診断補助ソフトの安全管理 ○



加算2(175点)から加算3(235点)で60点加算



決意表明

安全、迅速な画像検査、読影、血管造影
検査治療を継続します



 磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2024年度目標

放射線治療科 放射線治療センター



中期計画等からの重点目標

項目	目標	達成度
質の高い医療の実現	「その人にとって最も良い治療」 ・高精度放射線治療の積極的活用 ・フォローアップや症例検討 小線源治療や内用療法など特色ある治療の推進	成果時に評価
生き活きと働ける職場環境	AI、ICT等の技術の活用により業務の効率化をはかる ・治療説明用音声付き動画の作成と活用 ・スタッフ教育用動画の活用 専門性を活かせる環境づくり	成果時に評価
地域ニーズへの対応	「緩和的放射線治療・地域連携モデル」の活用推進	成果時に評価



2024年度 診療数値目標

項目	2022年度	2023年度	2024年度目標値	達成度
放射線治療実人数(人)	378	373	400	成果時に評価
定位放射線治療件数(件)	72	52	70	成果時に評価
外照射におけるIMRT割合(%)	57.3	53.9	50%以上	成果時に評価



2024年度の重点目標達成に向けた施策

AIによる自動輪郭描出ツール導入の検討
準備期間の短縮につながる可能性

スタッフ教育用動画の活用
頻度の少ない治療に関わるスタッフの教育
必要な項目をもれなく 繰り返し復習可能

がん専門スタッフとの連携
合同カンファレンス参加
→ 患者情報を得てニーズに合った治療の選択肢を提示



決意表明

ひとりひとりの患者さんに合った放射線治療をていねいに行います

放射線治療センターが一丸となって目標達成を目指します



 磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2024年度目標

麻酔科 手術センター



2024年度 診療数値目標

項目	2022年度	2023年度	2024年度 目標値	達成度
手術件数(件)	4,837	5,107	5,200	成果時 に評価
全身麻酔件数(件)	2,104	2,365	2,300	成果時 に評価
緊急全身麻酔件数(件)	364	364	370	成果時 に評価



中期計画等からの重点目標

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	高度で安全・良質な周術期医療の提供 ダビンチ手術症例増加への対応 緊急時の対応の強化 勉強会の充実・シミュレーションの開催	成果時 に評価
2. 生き生きと働ける職場環境	質の高い医療の実現 新人Ns・CEの継続的配属と育成の強化 日中のオペ室稼働率の上昇 針刺し件数の減少(感染症検査の施行割合の上昇) 休憩室の改善(改装予定)	成果時 に評価

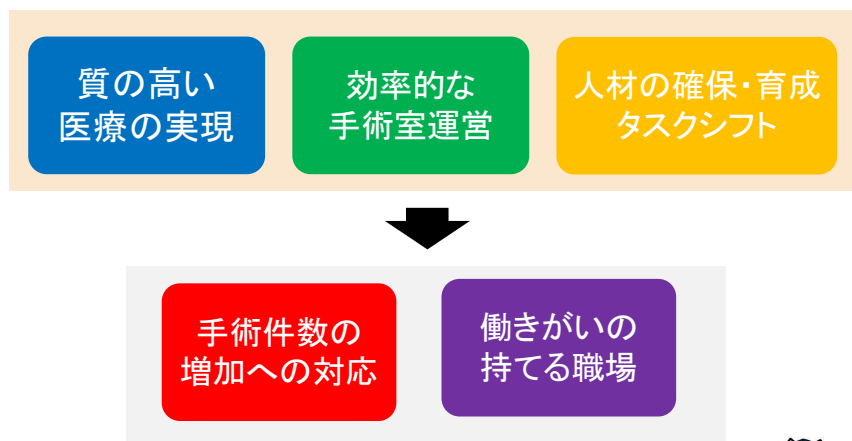


中期計画等からの重点目標

項目	目標	達成度
3. 地域ニーズへの対応	緊急手術への迅速な対応 手術件数増加への対応 外来手術件数・短期滞在手術件数増加への対応 臓器提供への対応	成果時 に評価
4. 経営基盤の更なる強化	急性期充実体制加算の取得の継続 他部門との連携・共働の強化 効率的な手術室運営 →Ns・CE・ヘルパー・クラークのタスクの明確化 →SPD・サプライセンター等と連携しタスクシフトを推進	成果時 に評価



2024年度の重点目標達成に向けた施策



決意表明

高度で安全・良質な周術期医療の提供

手術件数: 5,200件

全身麻酔件数: 2,300件

全身麻酔(緊急)件数: 370件

3F手術室、分娩室を有効に活用できる体制の構築

2024年度目標

病理診断科 病理診断センター



自部署の課題

1. 従来は4人の専門医が在籍していたが、23年度からは2人の専門医のみとなったまま→戦力ダウンの持続
2. 5～20年後を見据えて専攻医の持続的な確保(複数の経路)、管理加算2の維持
3. 病理医の資質・技術向上



2024年度 診療数値目標

項目	2023年度 (202001-202309)	2024年度 目標値	達成度
病理診断結果確認率	92.3%	95%	成果時に評価



中期計画等からの重点目標

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	<ul style="list-style-type: none">● 病理医の診断能力に関して、日本病理精度保証機構により高い評価(認定)を受ける● 標本管理能力について、日本病理精度保証機構により認定を受ける● 職員(特に専攻医)の確保● 他科・研修医のサポート体制強化: 症例検討会、論文、学会発表への参画	成果時に評価
2. 生き活きと働ける職場環境	<ul style="list-style-type: none">● 業務効率化: 残業時間の削減、有給休暇の取得推進、能力に応じた仕事の割り振り(働き方改革)	成果時に評価



2024年度の重点目標達成に向けた施策

1. 日本病理精度保証機構のフォトサーベイ試験を受験する
2. 日本病理精度保証機構により、パラフィンブロック品質チェックを受ける(がん遺伝子パネル検査における質の担保)
3. 細胞検査士1次試験合格



決意表明

日本病理精度保証機構による認定を受ける



2024年度目標

リハビリテーション科



中期計画等からの重点目標

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	全身管理、統合的な評価を包括的に解釈した上でゴール設定を行い、リハビリテーション治療を提供する。	成果時に評価
2. 生き活きと働ける職場環境	リハビリテーション現場の活力ある意見を吸い出して、実現させていくこと。	成果時に評価
3. 地域ニーズへの対応	訪問看護、訪問リハ、他院リハスタッフ、役所福祉課と協働して、医療難民、リハ難民を救い出すシステムの構築。	成果時に評価
4. 経営基盤の更なる強化	単位数の増加。加算損失機会の減少。	成果時に評価



2024年度 診療数値目標

項目	2022年度	2023年度	2024年度目標値	達成度
嚥下造影検査件数	56	164	180	成果時に評価
嚥下内視鏡検査数	16	88	100	成果時に評価
目標単位数 (PT+OT)	15.8	16.7	17.0	成果時に評価
学会発表演題数(医師+療法士)	0+6	0+6	3+7	成果時に評価
総合実施計画書不備割合(%)	17.3%	11.8%	10%	成果時に評価
早期リハビリテーション加算	82.7%	94.3%	96%	成果時に評価



2024年度の重点目標達成に向けた施策

- ・医師、看護師に向けたリハビリテーション教育の開始。
(対話を基本とした勉強会)
- ・専門外来の広報。(高次脳機能障害、痙性、嚥下障害、慢性疼痛、義肢装具、小児、心臓リハ、呼吸リハ、腎臓リハなどの中で可能なところから)
- ・訪問看護、訪問リハ、地域包括などの患者を取り巻く院外スタッフと相互コミュニケーションが可能なシステムの立案
- ・嚥下相談会、装具相談会の立案
- ・災害リハビリテーションの地域連携の立案



決意表明

療法士、病棟スタッフ、医師、地域のスタッフ、磐田市役所と共に

診療報酬改定に対応し、より**早期**により**多く**、より**質の高い**リハビリテーションを提供できる体制を構築します。

ADL・QOL向上に寄与し、地域とも連携して、円滑な早期退院・転院に貢献します。

中東遠圏域のリーダーとして、中東遠地域全体のリハビリテーションが円滑に回るよう、様々な職種同士が対話可能なシステムを構築します。



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

市民、職員の幸せな生き方を守る

やいがいのある組織

職種の枠を超えて対話を持って連携する

収益を出して病院の経営に貢献する



磐田市立総合病院
Iwata City Hospital

2024年度目標

救急科 救命救急センター



中期計画等からの重点目標

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	研修医に週1以上の勉強会を開催し、一定の質を担保する	成果時に評価
2. 生き活きと働ける職場環境	院内救命士など人手を充足させ、一人一人の負担を軽減できるように配慮する	成果時に評価
3. 地域ニーズへの対応	救急車搬送の不应需率を下げ、地域医療に貢献する	成果時に評価
4. 経営基盤の更なる強化	救急車搬送の不应需率を下げ、病院に貢献する	成果時に評価



2024年度 診療数値目標

項目	2022年度	2023年度	2024年度目標値	達成度
救急搬送件数(月平均)	432.7	480.1	500	成果時に評価
救急車入院率	43.5	42.6	45	成果時に評価
応需率	89.6	92.5	95	成果時に評価



2024年度の重点目標達成に向けた施策

毎週水曜日 ピットフォールカンファレンス
 ICLS研修医コース
 年4回 消防勉強会
 JATEC浜松コース
 屋根瓦塾
 など勉強できる場の提供する



決意表明

救急医1人ですが、周りのスタッフと協力し、精一杯頑張ります。



2024年度目標

歯科口腔外科



2024年度 診療数値目標

項目	2022年度	2023年度	2024年度 目標値	達成度
紹介患者数	1782	1816	1850	成果時に評価
平均入院日数	4.3	4.0	3.8	成果時に評価



中期計画等からの重点目標

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	DX化による質の高い手術・治療の提供	成果時に評価
2. 生き活きと働ける職場環境	業務の効率化・省力化によるストレスの軽減	成果時に評価
3. 地域ニーズへの対応	地域診療所とのコミュニケーションの強化	成果時に評価
4. 経営基盤の更なる強化	令和6年度診療報酬改定への対応	成果時に評価



2024年度の重点目標達成に向けた施策

- ・口腔内スキャナーやシミュレーションソフトの活用による再現性の高い手術・治療の実施。
- ・地域歯科医師会への積極的な参加。
- ・保険診療への理解を高めるために、講演会・セミナーへの積極的な参加。



決意表明

- ・初診までの待機期間を短縮。
- ・安全で質の高い医療の提供。



患者満足度の向上を目指す。

